



福島県立梁川高等学校

学校だより

知性 誠実 責任

第 2 号

令和4年4月11日（月）

令和4年度入学式・PTA入会式

4月11日（月）に梁川高校令和4年度入学式及びPTA入会式が行われました。

入学式では、新入生12名の生徒呼名、校長からの入学許可、校長式辞、来賓祝辞と式が進みました。入学式終了後、PTA入会式が行われ校長と事務局より教職員と保護者との連携協力の依頼を行いました。鶴ヶ岡の桜もちょうど満開を迎え、春の暖かさの中で行われ幸先の良いスタートとなりました。

入学式では校長から以下のような話をしました。



今年は厳冬で雪深かった吾妻連峰や半田山もようやく雪解けが進み、ここ鶴ヶ岡の桜もまさに満開に咲き誇ろうとする今日の佳き日、御来賓、並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、令和四年度福島県立梁川高等学校入学式を挙行できますことを、本校関係者を代表して心から感謝申し上げます。

ただ今、本校への入学を許可された新入生12名の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎します。本校は、大正8年の開校以来、今年で創立103年を迎える歴史と伝統を有する高等学校です。その間、長きにわたり、「知性 誠実 責任」を校訓とし、豊かな教養と確かな判断力、誠実で礼儀正しく誰とも協調できる豊かな心、自己の役割を認識し責任を持って自主的・積極的に行動できる能力の育成を目標として教育活動を行ってきました。その一世紀に及ぶ歩みの中で、地域社会を担い支える有為な人材を世に送り出し、昨年度までに13,875名の卒業生を輩出し、今日に至っています。また、梁川高等学校としては今年度で幕を閉じ、次年度からは伊達地域唯一の県立高校である「伊達高等学校」として新たな歴史を刻むこととなっています。

このような本校で新たな生活をスタートするにあたり、3つのことを皆さんにお願いしたいと思います。

1つめは、新たな出会いを大切に、何事にもチャレンジしてほしいということです。今、自分の周りには中学校も異なり初めて出会う同級生もいることでしょう。また、担任の先生をはじめとした本校の先生方との出会いも皆さんにとっては新たな始まりとなります。これからの高校生活の中で、今までとは異なる人間関係が始まります。その中で大切なのは、自分と相手の考えを直接話し合い、お互いを理解し合うこと、そして相手を思いやることです。本校では一年を通して球技大会や文化祭、部活動や生徒会活動など様々な活動があります。その活動に積極的に取り組む中で、お互いに話し合い、協力する経験を積むことで、人間性や社会性が養われ、卒業を迎える頃には大きく成長できるはずです。

2つめは、努力を惜しまないでほしいということです。今、「将来の夢や目標は何ですか。」と問いかけられたら皆さんは何と答えますか。すでに夢や目標があるならば、

その夢や目標に向かって努力をしてください。もし、夢や目標がまだ定まっていないなら、その夢や目標を探す努力をしてください。そのどちらであっても努力しようとする志が大切なのです。とはいっても具体的に何をすれば良いのか疑問に思う人もいるかもしれませんが。高校生として将来に繋げる努力は、日々の学習活動が最も重要です。どんな進路を選ぶとしても、高校での学習で得られた知識や技能、主体的に考える力はそれぞれの進路目標を達成する力となります。そして、社会に出たときも何らかの形で役立つ場面が必ず訪れます。努力を惜しまず学習に取り組んで下さい。

3つめは、命を大切にしてほしいということです。今、ウクライナではロシアの軍事侵攻により、民間人を含め多くの人々が亡くなっていると報道されています。国際社会が大きく変化する状況に皆さんは生きています。高校生となった今、しっかりと世界の現実へ目を向けるとともに、自分の命、家族の命、友達の命がいかに大切なものなのか考えてほしいと思います。

保護者の皆様、お子様の入学、誠におめでとうございます。今日から高校生となったお子様一人一人には責任ある行動や態度が求められます。本校では、教職員全員が「チーム梁川」として教育活動を推進し、お子様が、社会の一員として信頼される人材となるよう尽力して参ります。しかし、教育は学校だけでできるものではありません。学校と保護者の皆様方との連携が不可欠となります。教職員と保護者の皆様と一緒にしてお子様のより良き成長を促すことができるサポーターとして関わっていただければ幸いです。ご協力をよろしく申し上げます。

また、御多用中にもかかわらず、本校入学生への激励のために御臨席を賜りました御来賓の皆様方に心から感謝申し上げます。これからも新入生はもとより、本校、さらには次年度統合校として開校する伊達高等学校の教育活動に温かい御理解・御協力を賜りますとともに、なお一層の御指導・御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、本日、入学を許可された皆さんが、今日の日の喜びと感謝の気持ちを忘れずに、決意を新たに日々の勉学に励み、充実した高校生活を送り、立派な人間として成長することを心から祈念し、式辞といたします。

令和4年4月11日

福島県立梁川高等学校長 近東 昇

